

平成 27 年 4 月 10 日

復興水産加工業販路回復促進センター

「東北復興水産加工品展示商談会 2015」の開催について

今般、全国水産加工業協同組合連合会、（公社）日本水産資源保護協会、（一社）大日本水産会及び東北六県商工会議所連合会は、東日本大震災の被災地における水産加工業の復興を支援することを目的としたコンソーシアム「復興水産加工業販路回復促進センター」（以下、「復興販路回復センター」という。）を結成しました。

復興販路回復センターは、平成 27 年度水産庁補助事業「復興水産加工業販路回復促進事業」の事業実施主体となり、同事業を活用し、東日本大震災の被災地における水産加工業の販路回復に向けた個別指導、セミナー・商談会の開催、さらに販路回復に向けた取組を行う水産加工業者に対する支援を精力的に行ってまいります。

特に、6 月 16 日（火）、17 日（水）には、大規模な商談会を開催する予定であることから、以下のとおりお知らせいたします。

「東北復興水産加工品展示商談会 2015」について

日時：平成 27 年 6 月 16 日（火）、17 日（水）（2 日間）

場所：仙台国際センター展示棟（宮城県仙台市）

概要等については、【別紙】をご覧ください。詳細が決まり次第 5 月上旬頃追ってお知らせいたします。

<添付資料>

【別紙】「東北復興水産加工品展示商談会 2015」について

（参考）「復興水産加工業販路回復促進事業」について

(連絡先)

全国水産加工業協同組合連合会 (代表機関)

担当者：杉浦、佐々木、大藤

連絡先：03-3662-2040

(公社) 日本水産資源保護協会

担当者：下村、遠藤

連絡先：03-6680-4277

(一社) 大日本水産会

担当者：平井、今野

連絡先：03-3585-6985

東北六県商工会議所連合会

担当者：佐藤 (仙台商工会議所)

吉田 (八戸商工会議所)

連絡先：022-265-8129

0178-43-5111

「東北復興水産加工品展示商談会 2015」

企画案

2015年4月10日現在

復興水産加工業販路回復促進センター

【構成団体】

東北六県商工会議所連合会、(一社)大日本水産会

全国水産加工業協同組合連合会、(公社)日本水産資源保護協会

開催概要

1. 名称：東北復興水産加工品展示商談会2015

2. 主催：復興水産加工業販路回復促進センター

【構成団体】

東北六県商工会議所連合会(事務局 仙台商工会議所)／(一社)大日本水産会
全国水産加工業協同組合連合会／(公社)日本水産資源保護協会

3. 日時：2015年6月16日(火)～6月17日(水) 2日間

※16日：10:00～17:00(予定)

※17日：10:00～15:00(予定)

4. 会場：仙台国際センター展示棟(宮城県仙台市青葉区青葉山無番地)

5. 出展者：青森・岩手・宮城・福島・茨城県内沿岸部 水産加工事業者 約100業者

6. 出展料：無料 入場料：無料

7. 後援(予定)：水産庁、復興庁ほか

開催趣旨

【背景・実施目的】

東日本大震災から4年が経過し、東北地区水産業界全体として、震災からの復旧・復興の気運を高める。

東北水産業の連携体として、販路開拓・情報発信の拡大を図り、東北の水産業界の早期復旧・復興を目的として展示・商談会を開催する。

【東北地方水産業のビジネスニーズとチャンスの創出】

【バイヤーの引き合いチャネルを拡充】

【出展者間の交流と連携の促進】



【テーマ】

繋がる・繋げる「展示・商談会」

開催日程

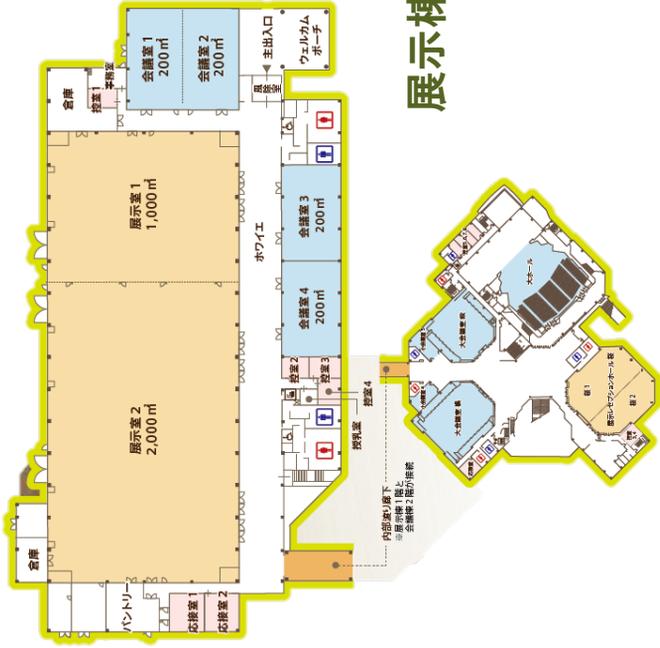
| 日時 | | 内容 | 会場 |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 6月16日(火) | 10:00～ | オープニングセレモニー | プレゼンステージA |
| | 10:30～16:00 | 展示商談会 | 展示棟展示室1,2 |
| | 13:00～17:00 | 個別商談会 | 展示棟会議室1,2,3 |
| 6月17日(水) | 10:00～15:00 | 展示商談会 | 展示棟展示室1,2 |
| | 10:00～15:00 | 個別商談会 | 展示棟会議室1,2,3 |

* 全て予定です。

※各セミナー会場:展示棟展示室内又は会議室4

会場図

【仙台国際センター-展示棟・会議棟2F】



展示棟

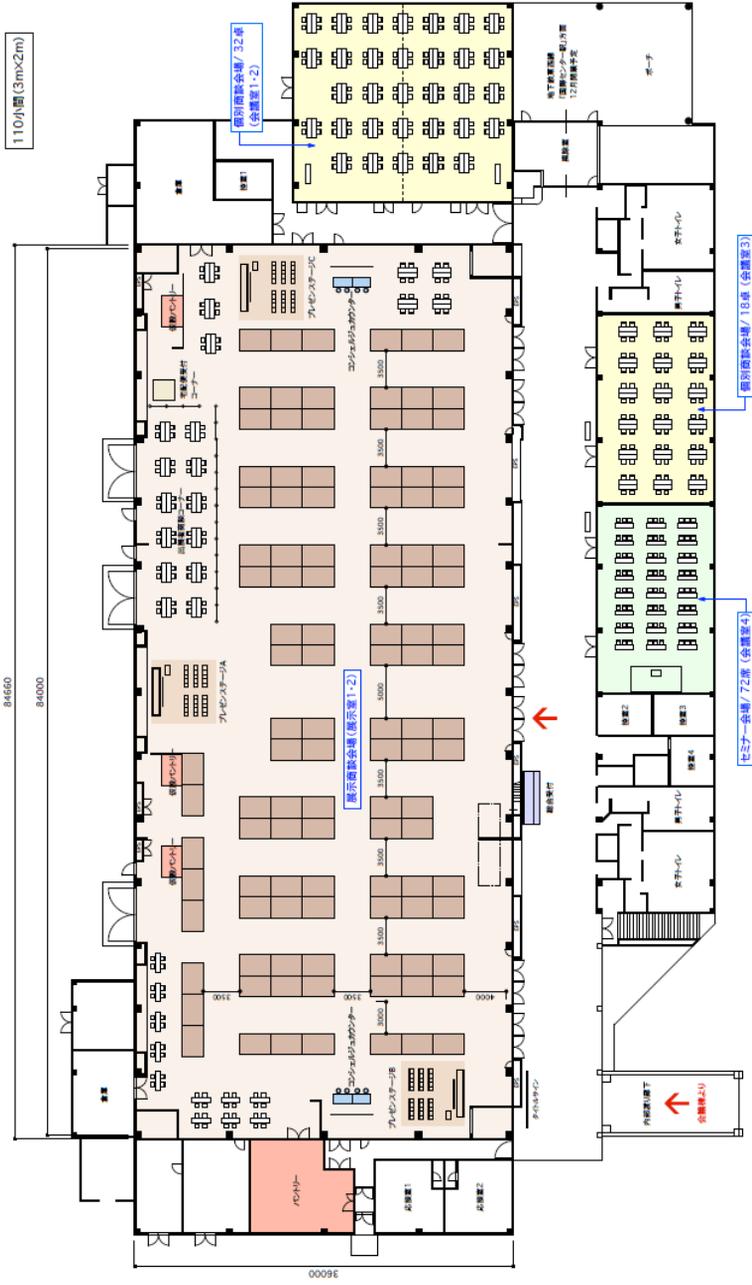
会議棟2F

【会場レイアウト案】

東北復興水産加工品 展示商談会2015

会場レイアウト案

Scale=1:300



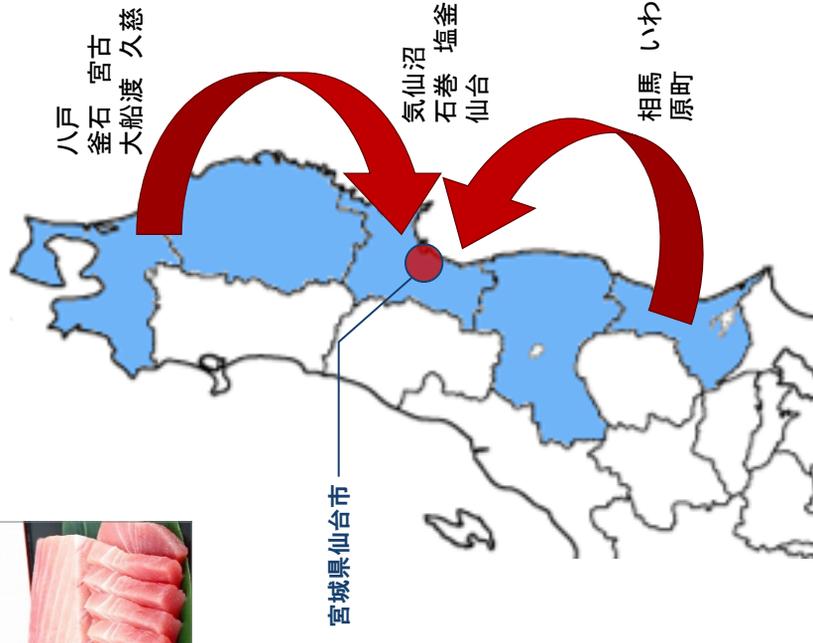
①-1 展示商談会

1. 東北地区の水産加工事業者 約100事業者が一堂に会するビジネスチャンスです。
2. 会場内では、小間割制の展示ブースを設置し、来場者へのPR・商談を行う場として開放します。

ブースイメージ



東北地区の水産加工事業者
「約100事業者」
参加想定です



①-2 展示商談会

個別商談以外の商談促進のため、一般バイヤーのニーズ及び出展者の商品等の情報を事前に把握し閲覧できる環境を当展示会公式ウェブサイト内に整備し、当日の効果的且つ効率的なビジネスマッチングの実現を図ります。

サプライヤー出展登録

↓

サプライヤー企業情報・商品情報掲載
(サプライヤー企業商品情報の把握)

事前にサプライヤーはバイヤーのニーズに応えられるかどうか
 情報をHP上で発信(カテゴリー例参照)

↓

一般バイヤーがHP上のサプライヤー情報確認

↓

一般バイヤーが興味を持たず、
イベント参加のため事前登録(バイヤーニーズの把握)

↓

当日来場したバイヤーは名札に目的となるカテゴリーシールを貼り、
 サプライヤーについてもブース内に該当するカテゴリーサインを掲出



カテゴリー例

- 小売、ギフト、
- 業務用、催事用、
- 百貨店、外商、卸、
- ホテル、レストラン

シール例



②個別商談会

1. 業界に精通した専門家のご協力のもと、国内外の食品関係の有カバイヤー様を招聘します。
2. 既に、招聘予定の有カバイヤー様から、具体的提案を事前にヒアリングし、お取組として希望する事業者を募っています。
3. 事業者は事前指導を受け、顧客提案に対応した新商品の開発や企画を当日に提案するビジネスマッチング型の商談会として運営致します。

ブースイメージ



③その他のコンテンツ プレゼンテーションステージ

1. 商品のプレゼンテーションステージを設置し、事業者はチャネル対応をしっかりと行った企画を観覧者へご提案致します！
2. 観覧客（バイヤー様等）は、商品又は企画へ興味を持った場合、設置された投票箱へ名刺を投入いただけます。
3. 以後、事業者より別途商談を申し込み、スピーディーな商談成立を目指します。



事業者から
“繋げる”
ご提案を目指します！

③その他のコンテンツ

関係団体・企画展示ブース

1. 各関係団体や各地域の特色ある魚種、商品等の他、カテゴリー毎のブース展示を行います。
2. 展示にあたっては、専門家が仲介役となり、出展事業者以外の商品PR、商談仲介等も行えるよう地域一丸となった商品PR・商談の場とし、販路開拓を目指します！
3. 上記に加え、復興水産販路回復アドバイザー(写真)が具体的な相談を受け付けます。



ブースイメージ



④各種セミナー開催

1. 有力バイヤー様や流通業界専門家等がパネルディスカッションやセミナーを開催致します。
2. 出展事業者だけでなく、来場者にとっても業界トレンドの情報収集には有効な場となります。

(セミナー案) *申し込み方法等詳細は追ってお知らせします。

1. 「震災から4年～販路回復のための方策(仮題)」フォーラム
2. 「輸出による販路拡大とその課題(仮題)」パネルディスカッション
3. 「水産加工品の販路回復・開拓に関するパネルディスカッション(仮題)」
4. 「通信販売～お客様に買ってもらえる商品を作る3つのポイント(仮題)」
5. 「ハラルセミナー・インバウンドマーケットの販路開拓(仮題)」
6. 「風評被害対策：放射能測定の取組(仮題)」
7. 「東北地区のプライドフィッシュ(仮題)」(全国漁業協同組合連合会)

⑤東北地区(復興)プライドフィッシュPR試食会

主 催

全国漁業協同組合連合会

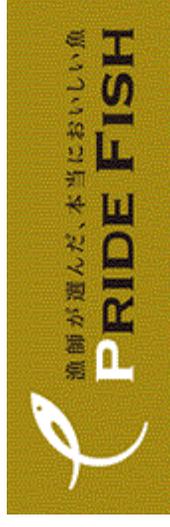
実施概要

○試食会イベント

会場内セミナースペースにて、プライドフィッシュプロジェクトの紹介、被災地のプライドフィッシュのシェフによる料理の説明・試食を行う。

○常設ブース

会場内ブースにて、パネル掲示やチラシ設置等を行い、プライドフィッシュプロジェクトをPR。



東北地区のプライドフィッシュ(例)



深浦マグロ



宮城サーモン(伊達のぎん)



陸前高田のエゾイシカゲ貝



※シェフにレシピ考案依頼。可能であれば考案レシピをWeb公開、当日配布。

(イメージ)

復興水産加工業販路回復促進事業

【平成27年度予算額 951百万円】

事業内容

東日本大震災によって被災した水産加工施設の復旧は進んできた一方で、失われた販路の回復が課題となっています。このため、被災地の水産加工業の販路回復に向けて、水産加工・流通の各段階への個別指導、セミナー等の開催、被災地の水産加工業者等が行う販路の回復・新規創出等の取組に必要な加工機器の整備等を支援します。

(本事業の実施対象被災地域：青森県、岩手県、宮城県、福島県及び茨城県)

補助率

定額、2/3以内

事業実施主体

支援内容等

(1) 復興水産加工業販路回復促進指導事業【新規】

- 被災地の水産加工品等の販路回復に向けた「水産販路回復アドバイザー」による個別指導及びセミナー等の開催。
- 風評被害対策として被災地産水産物の安全性をPRするためのセミナー・講習会を開催。

(2) 水産加工業販路回復取組支援事業【新規】

(1)①の「復興水産販路回復アドバイザー」による個別指導を踏まえ、被災地の水産加工品の販路の回復・新規創出等に向けた、漁業者、加工・流通業者もしくはそれらの団体が実施する取組に必要な加工機器の整備、マーケティングに必要な経費を支援。

(3) 加工原料等の安定確保取組支援事業【継続】(略)

(3)の事業は、※事業実施主体が異なります。

復興水産加工業販路回復促進センター

- ・全国水産加工業協同組合連合会(代表機関)
- ・(公社)日本水産資源保護協会
- ・(一社)大日本水産会
- ・東北六県商工会議所連合会

